

平成 25 年 12 月 5 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO兼社長室長 中塚琢磨
電話番号 03 - 3548 - 0217

核酸キャリアに関する特許が国内において特許査定を受けました

当社新規開発パイプラインのひとつである核酸キャリアに関する特許出願が、日本国特許庁から特許査定^{*1}を受けました。これにより、核酸医薬品を開発するにあたり必要とされる核酸キャリアに関する物質特許を、国内において確保できることになりました。

【発明の名称】 フェニルボロン酸基が導入されたブロックコポリマーおよびその使用
【出願番号】 特願 2013-529476
【特許権者】 国立大学法人東京大学、東京医科歯科大学、ナノキャリア株式会社

本特許は、ミセル化ナノ粒子技術を用いた核酸医薬開発における重要なキャリアシステムである「NanoFect™」の1つで、システムBに相当する特許です。システムBは、ミセル化ナノ粒子の直径が約30~50nmで、生体内に投与した血中内ではsiRNAを安定に保持し、細胞内に取り込まれた後に細胞内に多く存在するATP^{*2}によって放出されるシステムです。

NanoFect™は、これまで難しいとされていた全身投与でも核酸の優れた治療効果を発揮させる革新的な技術です。当社は、NanoFect™を利用した核酸医薬の開発を推進し、開発が断念されてきた核酸医薬開発における問題点を改善、次世代の新規医薬品を新たに創生することを目指しております。今後も世界が必要とする技術を開発し、画期的な医薬品を世界に提供して参ります。

尚、平成 26 年 3 月期末の業績への影響はございません。

*1 特許査定

特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を支払うことによって、特許権が発生することになります。

*2 ATP

Adenosine Triphosphate (アデノシン3リン酸) のことで、生体内、特に細胞内ミトコンドリアで産生されるエネルギー源ですが、様々な物質の代謝、カルシウムや鉄の細胞内濃度の調節、細胞周期やアポトーシスの調節などにも大きく関わっています。

以上